

第1回加西市子ども・子育て会議

日時：平成27年12月14日（月）

18時30分～19時29分

場所：加西市役所1階多目的ホール

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 委員の紹介
4. 会長の選出

5. 議題

(1)「加西市子ども・子育て支援事業計画」の変更について

(事務局説明)

○会長

現状とそれから今後変更していくということで、愛の光さんの参画があります。全体の数字だけでなく質を保証していく、質を高めていくための変更と理解しております。何か質問、意見はございますか。

○事務局 児童館は、これから検討を始める段階です。

○会長

キーワードは未来型児童館というコンセプトといたしましょうか。これは今ここで確定ということはありませんし、我々が決めるものでも必ずしもありませんが、改めて提案はいただけますね。

○事務局 将来の会議において審議いただくことを考えております。

○会長

平成31年度に予定されていますので、まだ数年ありますが、テンションを上げながら加西市の未来型児童館の詰めをしていけばいいかと思えます。ありがとうございました。

この事業計画の変更は県との調整もありますので、文脈の中で多少最終的な修正もあろうかと思えます。次回1月にはまとまるということですのでよろしいですね。

○事務局 はい。

○会長

わかりました。最終的には、次回、委員の皆様にお諮りして確認しますので、よろしく願いいたします。これについてよろしいですか。

[各委員から異論なし]

○A委員

愛の光こども園を子育て拠点の支援事業に加えていただき、ありがとうございます。今まで5カ所で、愛の光が加わって6カ所ですが、児童館で2カ所を統合するのは、どこなのかは、決まっていますか。

○事務局

ねひめキッズが富田学童保育室と兼用しており、また、療育事業も一体的な広場ができないかと検討しています。これはまだ案の段階です。

○A委員 ありがとうございました。

○会長

広場がそれぞれが独自にバラバラにやるのではなく、最終的に子育て支援の環境がネットワーク化され、その上で、広場や未来型児童館が有機的な連携を持ちながら、方策を展開する必要があると思いますので、ぜひ、ご検討をお願いします。皆さん方からご提案をいただきながら、まとめていきたいと思います。31年度が楽しみですね。教育長、よろしくをお願いします。それでは、議題の2つ目の保育料について引き続き、お願いします。

(2) 保育料の改正について

(事務局説明)

○会長

子どもたちが未来に歩む、子どもたちがしっかり基盤をつくっていく幼児期の教育・保育において、最大限の財政投入をするよという気構えのようなものがあろうかと思っています。そういった意味では、すばらしいことだと受けとめたいと思います。ただ、市の財政負担は大変だと思いますけども、教育長、大丈夫ですね。

○教育長 そういう目的のもとで行います。

○会長

非常にすばらしいと思います。子育てというところは市の生命線であり、市の成熟度を表す指標だと思っています。子育てについてどれだけ市が情熱を持っているかというね。

ただ金額の変更だけでなく、加西市における子育て支援環境の厚みを感じ取ると、非常にこれからの加西の「子どもを生むなら加西、子育てするなら加西、教育するなら加西」と、こんな合言葉が当たり前ようになっていく地域の成熟を示す一つの出発点だと思いました。

先般、資料を拝見したときに質問したのですが、資料2-3の給食費の3,400円が、北条幼稚園は3,500円、この100円の差は何かということですが、委員の皆さんにも再度説明をお願いします。

○事務局

幼稚園では小学校から給食を取ります。北条幼稚園の給食は北条小学校で定めた料金が設定されています。

○会長 保育所やこども園は自園給食。

○事務局

はい。自園給食で同じ献立、同じメニューです。料金も同じ値段に設定しています。そのため、北条幼稚園の給食費だけが異なります。

○会長 100円の差というのはそういうことで、ご理解いただければと思います。

○A委員

愛の光こども園では、北部菜園の給食を外部搬入で週3日いただいております。加西の特産物をおばさんたちがつくってくださって、本当においしくいただいております。子どもたちも最初は戸惑っていましたが、お野菜が好きになる子どもも増えてきましたし、喜んでいただいております。

今年から自園調理を行うため、姫路の給食会社に来ていただき、給食調理をしております。会社に支払いますお金もかかりますが、高額な給食費を保護者に負担していただいている状況です。

食育はとても大事な要素であり、同じ加西市の子どもですので、次代を担う子どもたちのためにも子どもの給食費について、公立との格差を縮める方向で検討いただけないかと思います。

○会長 意見がありましたので、記録をお願いします。

○B委員

公立の教育利用の場合は、保育料と別に給食費と教材費が必要ですが、この表を見るかぎりでは、月額保育料に4,000円の差があるということですか。4歳児の給食費、教材費が4,000円で、保育料5,000円と合わせたら月9,000円、同じ4歳児の保育利用なら給食費、教材費、保育料込みで5,000円ということでしょうか。

○事務局

4、5歳の月額保育料5,000円は全額免除になりますので、幼稚園は4,000円だけです。保育料が0円で、給食費と教材費を合わせて4,000円になります。

○B委員 わかりました。

○会長

食育基本法には食べるだけでなく、そこにある文化もあれば、誰かと食べることの喜びとか、つくり手に対することとか、いろんな食の哲学があります。加西市における給食費というのは廉価であるけれども、子どもたちの生涯の心と体の健康を支える基盤であり、その辺り、重ねて給食費を精いっぱい加西市として考えていくことを組み込んでいただければと思います。子どもたちの心と

体の健康を担保する責任が学校の給食にもあります。

僕らの団塊の世代の頃の学校給食はまずくて、教育長さん、大変だったですね。今は本当によくなったと思います、どこもね。事務局も食育基本法をよく読んで、その精神性をきちっと受けとめてください。

○C委員

今まで北部菜園さんからお弁当を注文していて、本当にその食が、田舎のおばあさまの味で、子どもたちも馴染みがないものばかりで、びっくりしていました。私たちが週2日はお弁当をつくれますが、そのお弁当はウインナーやブロッコリー、トマト、玉子焼きなど、毎日そんなに変わらないものでしたが、北部菜園さんのお弁当はおナスの煮びたしや酢の物だとか、私たちがお弁当に入れてあげられないものをたくさんつくっていただきました。給食費も愛の光はちょっと高いので、そこを援助していただけたらとてもありがたいです。よろしくお願いします。

○会長

食育基本法の重要性をよく理解していただき、また、皆さんの意見もありました。保育料の改正についても次回、改正案を示していただき、我々一応確認したいと思っております。金額だけではなく、今いただいた質のところをきちんとした上での金額ということになるかと思えます。

ほかに、保育料の改正についてどうですか。どうぞ。

○B委員

多子世帯の保育料で、幼稚園は第1子が小4になった場合はカウントできないということですよ。それがなぜかなと思います。他市では、第1子、第2子以降は半額と、もうそれだけで決まっているところもあるので、なぜ加西市はこういう細かい基準があるのかなと思います。固めて年子で生んだ方が保育料は安くて、もうちょっと離して生んだ場合は料金は変わらない。そこはどうかかなと思います。

○会長 ご意見を預かり検討ください。

○事務局

小学生を含めた線引きは加西市だけの特別なルールではなく、全国共通の方法です。

○B委員

他の市や自治体の全てを知っているわけではないですが、ただ、その線引きは無くてもいいのではないかと思います。

○事務局

確かに何年生から下という制限があるのは事実です。ただ、そこは加西市だけでなく全国で同じ基準でして、今回はそこは無くならないのですが、保育料そのものを軽減する方向で考えています。両方でできれば一番いいのですが、なかなかそこまでは難しいところです。今回はこの提案の形でご了承いただければと思います。

○会長

他によろしいでしょうか。本日は資料の説明と、それに関連するご意見等、提案等をつけ加えていただきました。これをもとに、事務局の方でまた調整していただいて、次回お示しいただきたいと思えます。事務局へお返しします。

○事務局

本日は、各委員の皆様には貴重なご意見を多数いただきましてありがとうございました。今回いただきましたご意見、食育や公立・民間での給食費の比較のお話もございました。そういったところを次回までに整理し、次回にご報告を予定したいと思えます。これにて1回目の会議を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

6. 閉会

了